

## 今週の株式相場見通し

\* 日経平均 20,950~22,200円 TOPIX 1,680~1,780  
 \* 期待材料 堅調な企業業績 諸外国に比べ安定した政治情勢  
 \* 不安材料 米国の金利情勢 欧州政治情勢 トランプリスクの顕在化 北朝鮮情勢 中東情勢  
 好業績や低バリュエーションを主因とした株高基調の継続を想定するが、今週は海外に注目イベントが多く、神経質な相場展開が継続しそうだ。昨今の世界的な株価乱高下は米国の長期金利上昇がきっかけであった。金利上昇の背景は、景気が好調に推移するなかでの減税やインフラ投資拡大による景気過熱及び財政悪化への懸念に加えて、FRBのパウエル新議長の経済、物価に対する認識や主に利上げペースに対する見解について、市場が見極めあぐねていることも影響しているものと思われる。その意味で、28日と3月1日に予定されるパウエルFRB議長の議会証言が注目される。ここで、一段の利上げ加速を想定させるコメントがあれば、国内外の株式市場において下落要因となることが懸念される。その他、週末にはイタリアでの総選挙、ドイツでの社会民主党の党員投票の結果公表が控えている。イタリアの選挙においては、いずれの政党も過半数を確保できない可能性が高いものと思われるが、22日にはフォルツァ・イタリアのベルルスコーニ元首相、与党民主党のレンツィ前首相がそれぞれお互いの党との大連立を否定していると報道された。大衆迎合的政党の五つ星運動がキャスティングボードを握る存在となる可能性も高まりつつある。また、ドイツにおいては、中道右派政党のCDU・CSUとの大連立の是非を問うSPDの党員投票の結果が判明する。否決されれば、昨年9月から続く政治空白のさらなる長期化が懸念される。一方で、連立政権設立となればCDU・CSUの緊縮財政に否定的なSPDが財務相ポストを得ることが決まっており、欧州経済の成長やユーロ高への期待が高まる展開も想定される。(2月22日現在、多功 毅)

## 今週の予定

	国内	海外
2/26 (月)	榊原経団連会長会見 マネーフォワード(3994)株主総会 12月景気動向指数改定値(14:00)	[スペイン]携帯電話見本市(~3月1日) [メキシコ]NAFTA第7回再交渉会合(~3月6日) [米]1月新築住宅販売件数(24:00)
27 (火)	18年度予算案衆院通過見込み 小林経済同友会代表幹事会見	[米]1月耐久財受注(22:30) [米]2月消費者信頼感指数(24:00)
28 (水)	1月鉱工業生産(8:50) 二次電池展(~3月2日) 水素・燃料電池展(~3月2日) エイチ・アイ・エス(9603)1Q決算	[中]2月製造業PMI(10:00) [中]2月非製造業PMI(10:00) [欧]2月消費者物価指数(19:00) [米]パウエルFRB議長が下院金融委員会で証言
3/1 (木)	2月の新車販売台数 日本郵便が「ゆうパック」を値上げ 伊藤園(2593)3Q決算 片岡日銀審議委員金融経済懇談会で挨拶	[中]2月財新製造業PMI(10:45) [米]1月PCEコア(22:30) [米]2月ISM製造業景況指数(24:00) [米]パウエルFRB議長が上院銀行委員会で証言
2(金)	1月失業率(8:30)	[仏]WOMAN PARIS AW18(~4日)
3(土)	ひな祭り	[スイス]BEAUTY FORUM SWISS(~4日)
4(日)	沖縄県石垣市長選 告示(11日投開票) 岩手県奥州市長選 投開票	[伊]総選挙 [独]社会民主党(SPD)党員投票の結果が判明

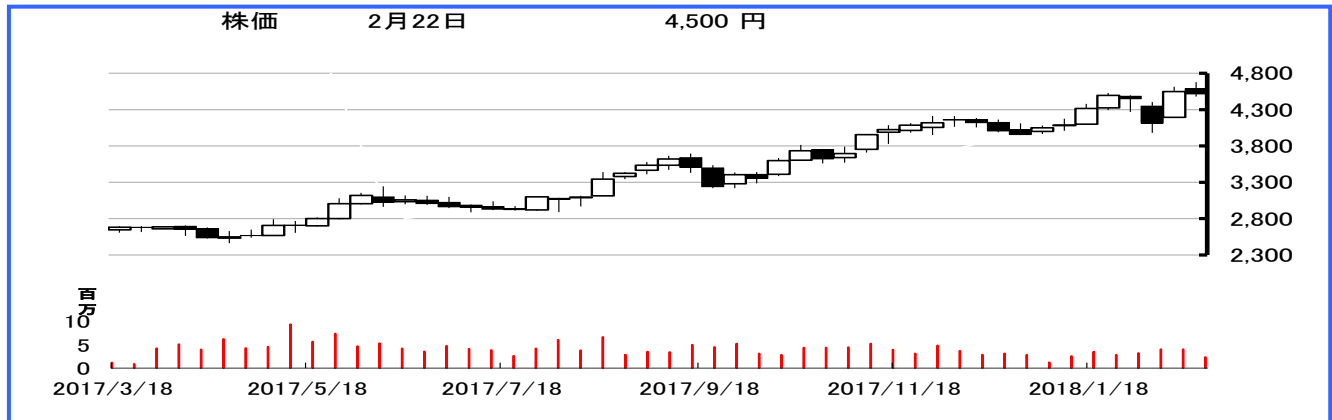
出所はロイター、ブルームバーグ、新聞各紙等より、時刻は日本時間(予定)

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、宜しくお願い致します。

## 今週の参考銘柄

**ポーラ・オルビス HD (4927)**

**東証 1 部**



	16年12月期 (百万円) 前年比	17年12月期 (百万円) 前年比	18年12月期(予) (百万円) 前年比	株価(2/22)	4,500 円
売上高	218,482	244,335 11.8%	253,000 3.5%	業種	化学
営業利益	26,839	38,881 44.9%	41,500 6.7%	売買単位	100 株
税前利益	27,121	39,250 44.7%	41,500 5.7%	PER(予想)	35.5 倍
当期純利益	16,328	27,137 66.2%	28,000 3.2%	PBR(実績)	5.0 倍
EPS(円)	73.8	122.7	126.6	ROE(実績)	14.1 %
配当金(円)	50.0	70.0	80.0	配当利回り(予想)	1.8 %
				担当	松本 直志

会計方針の変更に伴い16年12月期の前年比増減率は記載せず 出所：業績に関する数値は決算短信、決算説明会資料より

基幹ブランドのポーラ、オルビス、海外ブランドの Jurlique、H2O PLUS、育成ブランドの THREE、DECENCIA など多様な価格帯、ユーザーのニーズに合わせた化粧品ブランドを展開。17年12月期上期のビューティーケア事業のブランド別売上構成比は POLA が 63.4%、ORBIS が 23.4%、Jurlique が 5.6%、H2O+が 1.0%、育成ブランドが 6.6%になっている。

17年度決算は前年同期比 11.8%増収、44.9%営業増益。国内化粧品市場は 6%程度の成長も、インバウンドを除くと横ばい。ポーラが注力するスキンケア、エイジング、ホワイティング、高価格帯の市場が特に好調。しわを改善する効果のある美容液「リンクルショット メディカル セラム (以下、リンクル)」が新規顧客獲得と既存顧客活性化に大きく貢献し、ポーラが前年同期比 24.0%増収、68.2%営業増益と躍進。オルビスは既存顧客の継続率低下により苦戦しているが、Jurlique と H2O PLUS は費用効率化、事業運営費用の削減などで赤字縮小。育成ブランドの THREE は前年同期比 31.2%増収、DECENCIA は約 40%増収と拡大継続。

今期は前年同期比 3.5%増収、6.7%営業増益計画。ポーラの継続成長とオルビスと海外ブランドの損益改善により増収増益計画。THREE を展開する ACRO 社から秋頃に 3 ブランドを立ち上げ予定。生産量拡大で生産効率が改善したことで、「リンクル」は 18年1月から値下げ実施。値下げ効果により、1月は約 22 億円の売上になり想定以上のスタート。「リンクル」以外のポーラ商品の販売も前年同期比 38%伸び、ポーラ全体で 10%増収と好調な滑り出しになっている。

## 説明会より

銘柄 (コード) 市場 株価(2/22) 売買単位	コメント
<b>SUMCO</b> (3436) 東証1部 2,741円 100株	4Qについては工場の定期修理があったものの出荷が想定以上に順調で、計画を上回る業績で着地。今1Qについては300mmウエハの値上げ継続に加えて、200mmウエハも本格的な値上げ局面に入ることが想定される。需要が旺盛ななかウエハメーカー各社ともに慎重な増産ペースを継続していることから、会社側は19年に向けても着実な値上げを見込むとしている。今期、来期と業績拡大局面は継続する可能性が高いものと思われる。(多功 毅)
<b>アドベンチャー</b> (6030) 東証マザーズ 18,300円 100株	上期決算は前年同期比76.9%増収、9.8%営業増益。国内線、国際線ともに航空券の取扱高が拡大。特に韓国で取扱高が急増。航空券のキャンセル後取扱高は321.5億円となり、前年同期比2.1倍に拡大。取扱高好調とM&Aに伴い通期売上計画を上方修正。広告宣伝を積極化させていることで、利益計画は据え置き。今期は50億円程度の広告費を投入し、来期はさらに70~80億円へ拡大させる方針。顧客獲得単価が割安なフィリピン、ベトナム、マレーシアでも、国際線の航空券取扱高拡大を目指す。(松本 直志)
<b>レーザーテック</b> (6920) 東証1部 4,390円 100株	上期決算は前年同期比20.5%増収、25.8%営業増益、受注はFPD向けに大型受注があり131.6%増、受注残は162.6%増の359.17億円に拡大。需給がひっ迫しているメモリ向け設備投資が好調で、半導体マスク欠陥検査装置が売上をけん引。FPDでは有機ELパネルや大型TV用パネル向けの設備投資が拡大。EUV向けにマスクブランク欠陥検査装置、マスク欠陥検査装置、マスク裏面検査装置を用意しており、今後の受注獲得が期待される。(松本 直志) (松本 直志)
<b>スズキ</b> (7269) 東証1部 5,934円 100株	3Q累計決算は、国内において前年度に投入したワゴンR、スイフトに加えて今期に投入したスペースア、クロスビーが販売をけん引。また、海外において先行者メリットを享受するインドに加えて、市場が回復傾向のASEAN、欧州等でも販売を伸ばしており、前年同期比21.0%増収、55.3%営業増益。通期計画については為替等が不透明であるとして据え置いたが、上ブレ着地の可能性が高いものと思われる。(多功 毅)
<b>トプコン</b> (7732) 東証1部 2,335円 100株	3Q累計決算は前年同期比16.3%増収、41.1%営業増益。建設投資がグローバルで好調に推移し、建機向けナビシステムなどICT自動化施工が前年同期比25%増収。IT農業も買収した企業の組織を一本化したことで、OEMパートナー数が200社に拡大し前年同期比30%増収。スマートインフラは国内のi-Construction向けが伸び前年同期比40%増収。さらなる普及のために4カ所目のトレーニングセンターを茨城に新設。国内IT農業も前年同期比300%増収と急伸。中小型トラクタや田植え機向けにオートステアリングシステムの普及が加速。(松本 直志)
<b>三菱商事</b> (8058) 東証1部 2,969.0円 100株	3Q累計決算は資源系事業が市況上昇効果を楽しむうえ、非資源系の事業も着実に利益を積み増している。原料炭、銅等の資源が好調に推移する金属セグメント、アジアでの自動車関連事業がけん引する機械セグメント等が好調に推移している。また、米国における税制改正に伴い繰り延べ税金負債の取り崩し益が発生することで、通期純利益計画を5,400億円へと上方修正するとともに、増配を発表している。(多功 毅)

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、宜しくお願い致します。

## いつもあなたのそばで 頼れる金融機関です

やまわ

### ■ ■ ■ 山和証券店舗網 ■ ■ ■

本店営業部	(03) 3668-5412	〒103-0026	中央区日本橋兜町 1-8
金町支店	(03) 3600-6681	〒125-0041	葛飾区東金町 1-22-9
高円寺支店	(03) 3311-1171	〒166-0003	杉並区高円寺南 3-58-25
大岡山支店	(03) 5754-5523	〒145-0062	大田区北千束 3-28-1 パークホームズ大岡山ラヴィアンコート 1F
巣鴨支店	(03) 3918-6311	〒170-0002	豊島区巣鴨 3-33-2
上板橋支店	(03) 3935-0311	〒174-0071	板橋区常盤台 4-22-12
深川支店	(03) 5600-7891	〒135-0005	江東区高橋 11-1
茂原支店	(0475) 25-1151	〒297-0023	茂原市千代田町 1-6 茂原サンヴェルプラザ 1F



### ○金融商品取引法に基づく表示事項

◇商号：山和証券株式会社 金融商品取引業者：関東財務局長（金商）第190号

加入協会：日本証券業協会

◇ご投資にかかる手数料の概要およびリスクについて

- ・国内上場株式等を購入する場合は、約定代金に対して最大 1.1772%（ただし約定代金 230,000円以下の場合は最大 2,700円）の委託手数料をいただきます。
- ・国内上場株式等は、価格の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、発行会社の信用状況の悪化等により投資元本を割り込むおそれがあります。商品ごとに手数料等及びリスクは異なりますので当該商品の契約締結前交付書面をよくお読みください。

### ○山和証券免責事項

- ・本アナリストレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたものであり、特定の有価証券の売買あるいは特定の証券取引の勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断と責任でおねがいします。
- ・本アナリストレポートの全部もしくは一部を引用または複製、転送等により使用することを禁じます。

発行 山和証券調査室